

# 令和4年度 学校評価報告（目標設定）

	視点	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①新学習指導要領開始に伴い、指導と評価の一体化を意識し、教育実践に反映させる。また、多様な生徒の実態を踏まえた教育課程を構築する。</p> <p>②ICTサイクルによる授業改善や、「シチズンシップ教育」についての研究、ICTを活かした授業実践により、生徒の主体的な学びの力を育む。</p>	<p>①単元の指導と評価の計画の作成・修正を行い、授業改善を図る。各講座の上限人数の調整や、TTの適切な配置を行う。</p> <p>②研究開発Gと協同し、公開授業研究日の設定等により授業の振り返りを行い、積極的な授業改善に努める。また、自習室・質問スペースの充実を図る。</p>	<p>①1年間の単元の指導と評価の計画を作成・実践できたか。教科代表者会議で各教科の意見を集約し、適切な調整ができたか。</p> <p>②ICT活用促進、公開授業研究等を実施し、主体的・対話的な深い学びにつながる授業改善ができたか。また、生徒による授業評価の質問項目7が3.0以上になったか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①規範意識の醸成を図るとともに、授業を大切にできる態度を育成する。また、支援を必要とする生徒のため、教育相談体制を充実させる。</p> <p>②学校行事において、生徒が主体的に企画・運営を行うようにする。また、感染症予防の意識向上を、生徒活動の諸機会をとらえて徹底する。</p>	<p>①正装日を設けて、正装指導を行う。ICTを用いた生徒自身による健康観察や、SC利用促進を図る。</p> <p>②生徒の発想を引き出す話し合いの場を設定し、運営の主体を生徒に置く。感染症予防の観点を提示し、Withコロナの学校行事を定着する。</p>	<p>①正装日における正装指導が定着したか。毎日の健康観察の徹底やSCの利用促進を図れたか。</p> <p>②生徒の意見を引き出す場を設定できたか。生徒主体の学校行事運営ができたか。また、各行事の事後アンケートで生徒の満足度が80%以上になったか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①主体的に学習に取り組み、未来設計を築いていく力を身に付ける。</p> <p>②一人ひとりの進路実現に向けた計画的な学習を支援する。</p>	<p>①委員会活動や学校行事・インターンシップなど主体的な活動の充実を図る。</p> <p>②外部プログラムを自主的に活用し、面談を通して学習の成果・達成感を確認していく。また、大学進学率をあげていく。</p>	<p>①主体的な活動の場を設定できたか。</p> <p>②有効な活用方法を提供し、情報を生徒に発信できたか。昨年度の女子の大学進学率37.4%を40%以上にできたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①HPの定期更新を行い、保護者を含めた地域全体に向けての情報発信を充実させ、学校の取り組みや生徒の活動を周知する。</p> <p>②コロナ禍で途絶えた「地域との協働事業」復活に向けて始動する。また、オンラインも併用し、地域協働の機会を拡充していく。</p>	<p>①部活動などのHP更新頻度の増加、保護者向けプリントをネット閲覧可能にする。学校説明会等の動画での配信を行う。</p> <p>②コロナ禍でも無理なく行える協働活動を、地域・教員、生徒会を中心とした生徒の意見も含めた、協働活動を計画・立案をしていく。</p>	<p>①HPを30回以上更新することができたか。可能な限り保護者向けプリントを配信できたか。動画作成が行えたか。</p> <p>②コロナ禍を踏まえた上での新しい形の地域との協働活動を計画できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①UDLの観点に基づいた授業づくり、環境づくりを行い、すべての生徒にとって安全・安心な学習環境を検討・検証する。</p> <p>②教員の働き方改革を推進するため、教員が健康で働きやすい職場づくりを進める。また、不祥事防止について教員の意識を高める。</p>	<p>①無線ネットワーク環境の強化、特別教室へのICT機器の設置(常設)、校内ピクトグラムの表示、自習環境の充実を図る。</p> <p>②業務内容・担当を見直し、仕事の不公平感を是正する。情報共有・複数対応の再徹底をし、不祥事を未然に防ぐ。</p>	<p>①UDLの観点に基づいた授業づくり・環境づくりができたか。また、生徒による授業評価の質問項目8が3.2以上になったか。</p> <p>②業務の負担を分散したことで、余力を他の教育活動等に活用することができたか。情報共有ができていくか教員間で定期的に確認する。</p>